



平成25年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年12月26日

上場会社名 ユニー株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 8270 URL http://www.uny.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)前村 哲路
 問合せ先責任者 (役職名)専務取締役 専務執行 役員 経理財務部担当 (氏名)越田 次郎 (TEL)0587(24)8066
 四半期報告書提出予定日 平成25年1月4日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第3四半期の連結業績(平成24年2月21日～平成24年11月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第3四半期	759,798	△4.7	25,874	△18.3	24,758	△18.5	28,982	618.0
24年2月期第3四半期	797,112	△3.1	31,670	28.0	30,390	34.8	4,036	△17.8

(注) 包括利益 25年2月期第3四半期 29,513百万円(446.5%) 24年2月期第3四半期 5,400百万円(-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第3四半期	137 25	—
24年2月期第3四半期	20 43	—

(注) 営業収益は、連結損益計算書の「売上高」と「営業収入」を合計して記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第3四半期	850,425	301,238	34.3
24年2月期	964,594	347,499	25.2

(参考) 自己資本 25年2月期第3四半期 291,566百万円 24年2月期 242,900百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	9 00	—	10 00	19 00
25年2月期	—	11 00	—	—	—
25年2月期(予想)	—	—	—	13 00	24 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成24年12月26日)公表いたしました「平成25年2月期 配当予想の修正(記念配当)に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年2月21日～平成25年2月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,036,600	△3.9	39,000	△11.4	37,400	△11.8	35,800	330.1	165 24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※注記事項

(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動):有

新規一社(社名)、除外1社(社名)株式会社鈴丹

(注)詳細は、4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)」をご覧ください。

(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 :無

(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4)発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年2月期3Q	234,100,821株	24年2月期	198,565,821株
25年2月期3Q	1,043,384株	24年2月期	1,019,378株
25年2月期3Q	211,170,539株	24年2月期3Q	197,551,356株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4. 決算参考資料	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による停滞から緩やかな景気回復の兆しがみられたものの、欧州の債務問題や円高の長期化に加え、日中摩擦によるマイナス影響など製造業をはじめとする輸出減少などにより、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。また消費者物価は、電力料金の引き上げが指数を押し上げるものの、政局の混乱や今後の社会保障制度への不安感など、消費者の買い控えに歯止めがかからない状況にあります。

当社グループが属する小売業界におきましても、生活者としての低価格志向や生活防衛意識が高まり、加えて同業他社や他業態との競争激化など、引き続き厳しい状況が続きました。

このような経済状況の中、当社は、本年2月の当社取締役会において、連結子会社である㈱サークルKサンクスの公開買付けによる完全子会社化、ならびにユニーグループの持株会社体制への移行を決議いたしました。来期からは純粋持株会社「ユニーグループ・ホールディングス㈱」の下、各事業会社が連携し、商品開発・物流機能・販促活動等の各分野におけるグループシナジーの最大化を推進してまいります。その準備として、この8月21日付でユニー㈱に「グループ商品企画部」「グループ物流部」「グループIT販促部」を設立しております。ユニーグループは、今後とも今まで以上に人材・資金等経営資源の最適配分を図るとともに、海外出店・M&A・新規事業開発などのグループ戦略を明らかにし、企業価値の益々の向上に努めてまいります。

このような状況のもと、当第3四半期のグループ連結業績は、営業収益7,597億98百万円（前年同期比4.7%減）、営業利益258億74百万円（前年同期比18.3%減）、経常利益247億58百万円（前年同期比18.5%減）となりました。特別利益として㈱サークルKサンクスの公開買付け等による負ののれん発生益180億35百万円を計上したこと等により四半期純利益は289億82百万円（前年同期比618.0%増）となりました。

(セグメント別の業績の動向)

第1四半期から「コンビニエンスストア」セグメントに含めていた㈱99イチバを当社の完全子会社化に伴い「狭商圏小型スーパーマーケット」に業態変更したことにより、「総合小売業」セグメントに含めております。なお、前年同期比は前年同期を変更後の区分に組み替えた上で算出しております。

<総合小売業>

総合小売業は営業収益5,781億34百万円（前年同期比2.7%減）、営業利益75億29百万円（前年同期比25.8%減）となりました。

ユニー㈱においては、「GMS事業の改革」「グループシナジー」「海外出店」「ITビジネス」「店舗開発戦略」「既存事業部」「エコ・ファーストの約束」の7つの基本戦略を掲げ、社会貢献と成長戦略、収益力向上を目指しております。「GMS事業の改革」では、「マーチャндаイジング改革」「現場主義」「ローコスト経営」を徹底し、改善活動・VP（ビジュアルプレゼンテーション）・レベルアップ・環境マネジメントの4つの運動を着実に継続しております。㈱99イチバの完全子会社化では、狭商圏小型スーパーマーケット「ミニピアゴ」の展開により、都市部を中心としたマーケット対応を実施しております。

また、昭和58年に「APITA」という名称を初めて使用してから、今年でアピタ誕生30周年を迎えます。「おしゃれ・新しさ・楽しさ」をキーワードにアピタは今後も進化していきます。3月より30周年の感謝の気持ちを込めて、「アピタ誕生30周年企画」として、記念企画やプレゼント企画など、さまざまな営業活動を実施しております。

しかしながら、住居関連及び食品部門における前年の震災による売上高拡大の反動や天候不順により、既設店売上高は前年同期比3.2%減（衣料2.0%減、住居関連4.6%減、食品3.1%減）となりました。

当セグメントの営業費用は、「ローコスト経営」の継続による人件費や賃借料の減少などにより、5,706億5百万円（前年同期比2.3%減）となりました。

ユニー㈱の当四半期末店舗数は出店2店舗、閉店3店舗により226店舗、ユニー香港は3店舗、㈱99イチバは出店7店舗、閉店7店舗により63店舗となりました。

<コンビニエンスストア>

コンビニエンスストアは営業収益1,193億15百万円（前年同期比13.4%減）、営業利益157億85百万円（前年同期比15.7%減）となりました。

㈱サークルKサンクスにおいては、個店ごとの小商圏に対応した店舗オペレーションの向上や立地タイプ別品揃えの構築に努めました。また、新たな客層の獲得を目指し、店内調理の揚げたて惣菜「ごちそうデリカ」の導入店舗数拡大のほか、「淹れたてコーヒー」の販売強化などに取り組みました。しかしながら、政策的に自営店数の削減を進めたことにより自営店売上高が減少した結果、営業収益は減少しました。営業費用は、自営店関連経費等を中心とした削減により、1,035億29百万円（前年同期比13.0%減）となりました。

当四半期末店舗数は出店275店舗、閉店156店舗により5,667店舗となりました。なお、非連結のエリアフランチャイザーを含む当四半期末店舗数は6,298店舗となりました。

<専門店>

専門店の営業収益は511億39百万円（前年同期比5.6%減）、営業損失4億21百万円（前年同期は営業損失87百万円）となりました。

㈱さが美においては、きもの事業において優良顧客向け展示販売会の開催などにより既存店売上高は0.4%減とほぼ前年並みとなりましたが、子会社の㈱九州さが美の株式譲渡により売上高は前年同期比4.4%減となりました。ホームファッション事業においては、前年の震災からの復興需要及び節電対応グッズの好調などの反動により日用雑貨の売上が落ち込みました。その結果、営業収益174億69百万円（前年同期比5.7%減）、営業損失8億78百万円（前年同期は営業損失8億98百万円）となりました。当四半期末店舗数は出店5店舗、閉店23店舗により283店舗となりました。

㈱パレモにおいては、平成24年2月21日付で㈱鈴丹と合併し、両社の資産及びノウハウを共有するなど様々な統合効果を得ることにより、更なる成長を図っております。当第3四半期においては合併後の「事業基盤の整備ならびに増強」に注力することを中心に、ブランド力及びマーチャンダイジング力の強化に努めました。また、合併効果を活かした直接貿易を強化するとともに販促強化にも取り組みました。この結果、既存店売上高は前年同期比4.1%減となりましたが、合併による規模拡大があり、営業収益は297億75百万円（前年同期比44.0%増）、営業利益は3億71百万円（前年同期比27.4%減）となりました。当四半期末店舗数は、期首に㈱鈴丹の店舗232店舗を加え、出店28店舗、閉店48店舗により796店舗となりました。

<金融>

金融の営業収益は125億14百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益24億47百万円（前年同期比1.6%減）となりました。

㈱UCSにおいては、カード事業において包括信用購入あっせん（カードショッピング）はポイント換算率の向上やボーナスUポイントの取組み、営業企画の増加などにより好調に推移しましたが、融資は貸金業法の総量規制により取扱高、残高ともに厳しい状況が継続しております。保険リース事業は損害保険が堅調に推移したことに加え、保険ショップの契約数も増加しております。

当セグメントの営業費用は、適正な与信管理により貸倒関連費用は減少しましたが、包括信用購入あっせん取扱高の好調によるポイント費用の増加や、更新カードの増加に伴う関連費用の増加等により、100億66百万円（前年同期比2.6%増）となりました。

<その他>

その他の事業の営業収益は145億95百万円（前年同期比1.1%増）、営業利益5億27百万円（前年同期比28.2%増）となりました。

その他の事業は、当社グループ内のサービス会社としてコスト削減を行いつつ、当社グループ外への事業拡大に努めました結果、増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態の変動状況

当第3四半期末における総資産は8,504億25百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,141億69百万円減少しました。これは主に、現金及び預金、有価証券の減少によるものです。

また有利子負債は、前連結会計年度末に比べて648億19百万円減少し、2,708億84百万円となりました。

純資産の当第3四半期末残高は3,012億38百万円となり、この結果、自己資本比率は34.3%となりました。また、公募及び第三者割当による増資により資本金及び資本剰余金が前連結会計年度末に比べて、それぞれ120億58百万円増加しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年10月2日公表の通期業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式会社鈴丹は株式会社パレモと合併したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	100,659	6,660
受取手形及び売掛金	62,126	85,115
有価証券	42,008	—
商品	45,801	52,368
短期貸付金	20,474	18,427
繰延税金資産	5,849	5,398
その他	56,486	52,674
貸倒引当金	△3,669	△3,252
流動資産合計	329,737	217,392
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	208,249	208,326
工具、器具及び備品(純額)	7,517	8,431
土地	195,190	195,674
リース資産(純額)	26,482	29,930
建設仮勘定	1,921	4,026
その他(純額)	3,438	3,804
有形固定資産合計	442,800	450,193
無形固定資産		
のれん	12,783	11,563
その他	20,239	19,299
無形固定資産合計	33,023	30,862
投資その他の資産		
投資有価証券	17,132	17,463
長期貸付金	1,267	1,189
繰延税金資産	17,101	15,724
差入保証金	107,150	101,207
その他	18,334	17,946
貸倒引当金	△1,952	△1,555
投資その他の資産合計	159,033	151,977
固定資産合計	634,857	633,032
資産合計	964,594	850,425

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月20日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年11月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	89,187	94,959
短期借入金	5,391	3,159
1年内返済予定の長期借入金	65,908	70,306
コマーシャル・ペーパー	59,500	32,000
未払金	37,699	44,317
未払法人税等	8,848	3,911
繰延税金負債	4	—
役員賞与引当金	150	120
賞与引当金	6,436	6,819
ポイント引当金	1,084	2,133
その他	66,834	57,542
流動負債合計	341,045	315,270
固定負債		
長期借入金	189,309	148,030
リース債務	12,021	12,969
繰延税金負債	699	794
再評価に係る繰延税金負債	74	74
退職給付引当金	1,468	1,302
利息返還損失引当金	2,217	2,073
負ののれん	1,232	645
長期預り保証金	52,807	52,007
資産除去債務	12,983	13,121
その他	3,236	2,898
固定負債合計	276,050	233,916
負債合計	617,095	549,187
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,129	22,187
資本剰余金	58,824	70,883
利益剰余金	175,220	199,699
自己株式	△1,207	△1,257
株主資本合計	242,967	291,512
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,823	1,940
繰延ヘッジ損益	81	61
土地再評価差額金	△419	△424
為替換算調整勘定	△1,552	△1,523
その他の包括利益累計額合計	△66	54
少数株主持分	104,599	9,671
純資産合計	347,499	301,238
負債純資産合計	964,594	850,425

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
売上高	667,613	629,485
売上原価	488,353	461,712
売上総利益	179,259	167,772
営業収入		
不動産収入	30,155	30,694
手数料収入	99,343	99,619
営業収入合計	129,498	130,313
営業総利益	308,758	298,086
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	1,503	1,946
貸倒引当金繰入額	680	196
給料及び手当	77,384	75,196
賞与引当金繰入額	8,611	6,819
退職給付引当金繰入額	3,759	3,693
利息返還損失引当金繰入額	1,211	936
賃借料	64,851	63,700
減価償却費	22,796	23,362
その他	96,288	96,361
販売費及び一般管理費合計	277,087	272,211
営業利益	31,670	25,874
営業外収益		
受取利息	618	589
受取配当金	262	293
負ののれん償却額	591	587
持分法による投資利益	131	264
受取補償金	249	215
テナント内装工事負担金	35	—
その他	657	764
営業外収益合計	2,545	2,714
営業外費用		
支払利息	2,967	2,671
支払補償費	628	572
その他	229	585
営業外費用合計	3,825	3,829
経常利益	30,390	24,758

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
特別利益		
固定資産売却益	153	120
貸倒引当金戻入額	203	—
負ののれん発生益	—	18,035
段階取得に係る差益	258	—
その他	151	152
特別利益合計	767	18,309
特別損失		
固定資産処分損	638	1,083
減損損失	3,629	3,158
災害による損失	2,422	—
投資有価証券評価損	408	379
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,481	—
その他	529	67
特別損失合計	16,110	4,688
税金等調整前四半期純利益	15,047	38,379
法人税、住民税及び事業税	10,474	7,210
法人税等調整額	△2,176	1,750
法人税等合計	8,298	8,960
少数株主損益調整前四半期純利益	6,749	29,419
少数株主利益	2,713	436
四半期純利益	4,036	28,982

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年2月21日 至平成23年11月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年2月21日 至平成24年11月20日)
少数株主損益調整前四半期純利益	6,749	29,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,015	96
繰延ヘッジ損益	△11	△19
為替換算調整勘定	△284	28
持分法適用会社に対する持分相当額	△38	△11
その他の包括利益合計	△1,349	93
四半期包括利益	5,400	29,513
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,708	29,108
少数株主に係る四半期包括利益	2,691	404

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成23年2月21日 至 平成23年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	総合小売業	コンビニエンスストア	専門店	金融	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	584,770	145,475	54,194	9,919	2,752	797,112	—	797,112
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,693	6	—	2,379	11,678	15,758	△15,758	—
計	586,464	145,481	54,194	12,298	14,431	812,870	△15,758	797,112
セグメント利益又は損失(△)	10,251	18,619	△87	2,487	411	31,683	△12	31,670

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備・清掃・保守業務、リフォーム・リペア事業、不動産事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第3四半期連結累計期間において「コンビニエンスストア」セグメントでは、土地の時価下落が著しい店舗及び閉店が予定されている店舗、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗について、2,813百万円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成24年2月21日 至 平成24年11月20日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	総合小売業	コンビニエンスストア	専門店	金融	その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結損益計算書計上額(注3)
営業収益								
(1) 外部顧客に対する営業収益	576,475	119,311	51,132	9,918	2,960	759,798	—	759,798
(2) セグメント間の内部営業収益又は振替高	1,658	3	7	2,595	11,634	15,900	△15,900	—
計	578,134	119,315	51,139	12,514	14,595	775,699	△15,900	759,798
セグメント利益又は損失(△)	7,529	15,785	△421	2,447	527	25,869	4	25,874

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、警備・清掃・保守業務、リフォーム・リペア事業、不動産事業等を含んでおります。
 2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去等であります。
 3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
 4. 営業収益は、売上高及び営業収入の合計額であります。
 5. 前連結会計年度において「コンビニエンスストア」セグメントに含めていた株式会社99イチバを「生鮮コンビニ」から「狭商圏小型スーパーマーケット」に業態変更したことに伴い、第1四半期連結累計期間より「総合小売業」セグメントに含めております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第3四半期連結累計期間において「コンビニエンスストア」セグメントでは、土地の時価下落が著しい店舗及び閉店が予定されている店舗、営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗について、2,648百万円の減損損失を計上しております。

(重要な負ののれん発生益)

当第3四半期連結累計期間において「コンビニエンスストア」セグメントでは、連結子会社の株式会社サークルKサンクスの株式を公開買付けにより取得したこと等に伴い、17,879百万円の負ののれん発生益を計上しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年8月6日付けで一般募集及び第三者割当による増資、平成24年8月17日付けでオーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当による増資の払込を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金と資本剰余金がそれぞれ12,058百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が22,187百万円、資本剰余金が70,883百万円となっております。

4. 決算参考資料

I. 連結業績

(1) 決算概要

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	797,112	96.9%	1,079,150	97.0%	759,798	95.3%
総合小売業*1	594,154	97.2%	812,536	97.3%	578,134	97.3%
コンビニエンスストア事業*1	137,791	98.8%	177,825	97.7%	119,315	86.6%
専門店事業	54,194	89.6%	74,006	90.9%	51,139	94.4%
金融事業	12,298	93.7%	16,411	95.2%	12,514	101.8%
その他	14,431	100.5%	19,544	102.0%	14,595	101.1%
連結調整	-15,758	-	-21,172	-	-15,900	-
販売費及び一般管理費	277,087	97.4%	370,846	97.5%	272,211	98.2%
営業利益	31,670	128.0%	44,001	125.4%	25,874	81.7%
総合小売業*1	10,142	184.0%	17,905	138.7%	7,529	74.2%
コンビニエンスストア事業*1	18,729	120.1%	20,564	120.0%	15,785	84.3%
専門店事業	-87	-	745	48.1%	-421	-
金融事業	2,487	100.9%	4,240	145.5%	2,447	98.4%
その他	411	80.3%	566	92.5%	527	128.2%
連結調整	-12	-	-20	-	4	-
営業外収益	2,545	96.2%	3,584	94.0%	2,714	106.6%
営業外費用	3,825	78.8%	5,196	78.4%	3,829	100.1%
経常利益	30,390	134.8%	42,389	131.3%	24,758	81.5%
特別利益	767	653.0%	2,866	707.7%	18,309	-
特別損失	16,110	297.2%	19,398	157.5%	4,688	29.1%
当期(四半期)純利益	4,036	82.2%	8,323	137.7%	28,982	718.0%
1株当たり当期(四半期)純利益	20円43銭	82.2%	42円14銭	137.7%	137円25銭	671.8%
期中平均株式数*2	197,551,356株		197,549,197株		211,170,539株	
総資産	958,570	99.4%	964,594	102.6%	850,425	88.7%
純資産	340,965	100.5%	347,499	101.9%	301,238	88.3%
有利子負債*3	301,286	94.6%	335,704	108.5%	270,884	89.9%

* 1. 株式会社99イチバのセグメント区分変更に伴い、11/11期および12/2期の同社数値をコンビニエンスストア事業から総合小売業に読み替えています。

* 2. 期中平均株式数は自己株式を除きます。

* 3. 有利子負債はリース債務を含みます。

《ご参考》

- ・連結ベースの営業収益は、2008年2期第3四半期より6期連続の減収です。
- ・連結ベースの営業利益は、2010年2期第3四半期以来、3期ぶりの減益です。
- ・連結ベースの経常利益は、2010年2期第3四半期以来、3期ぶりの減益です。
- ・連結ベースの四半期純利益は、2011年2期第3四半期以来、2期ぶりの増益で「過去最高益」です。
- ・連結決算ベースにおける過去最高の営業収益および利益は、営業収益903,414百万円(2007年2期第3四半期)、営業利益31,670百万円(2012年2月期第3四半期)、経常利益30,390百万円(2012年2月期第3四半期)、四半期純利益6,237百万円(2005年2月期第3四半期)

(2) 主要会社の店舗数及び出店・閉店

(単位:店)

	11/11		12/2		12/11	
		純増減		純増減		純増減
総合小売業						
ユニー	227	-2	227	-2	226	-1
出店	3	-	3	-	2	-
閉店	5	-	5	-	3	-
UNY (HK) CO., LIMITED	3	+1	3	+1	3	±0
出店	1	-	1	-	0	-
閉店	0	-	0	-	0	-
コンビニエンスストア事業						
サークルKサンクス(グループ計)	6,237	-37	6,169	-105	6,298	+129
開店	253	-	376	-	300	-
閉店	290	-	481	-	171	-
(内、本体)	5,033	+32	5,084	+83	5,195	+111
開店	215	-	325	-	253	-
内、リロケート	41	-	53	-	40	-
閉店	183	-	242	-	142	-
(内、エリアFC計)	1,204	-69	1,085	-188	1,103	+18
開店	38	-	51	-	47	-
閉店	107	-	239	-	29	-
専門店事業						
さが美(連結)	305	-15	301	-19	283	-18
出店	2	-	3	-	5	-
閉店	17	-	22	-	23	-
パレモ*	588	+12	584	+8	796	-20
出店	36	-	40	-	28	-
閉店	24	-	32	-	48	-
モリエ	138	-8	136	-10	134	-2
出店	1	-	1	-	3	-
閉店	9	-	11	-	5	-
鈴丹(連結)*	233	-8	220	-21	-	-
出店	4	-	7	-	-	-
閉店	12	-	28	-	-	-

(注) 純増減は、該当事業年度における出店数から閉店数を減じた店舗数です。

* 2012年2月21日付にて、株式会社鈴丹と株式会社パレモが合併したため、12/11期のパレモの期末店舗数が純増減数よりも増加しています。

Ⅱ. セグメント別主要会社の決算概況

総合小売業 — ユニー

(1) 個別業績

① 個別業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	575,768	96.8%	788,234	97.0%	561,110	97.5%
直営売上高	547,564	96.6%	750,165	96.8%	532,460	97.2%
売上総利益	134,720	100.4%	184,407	99.7%	129,695	96.3%
営業収入	28,203	100.8%	38,068	100.6%	28,649	101.8%
営業総利益	162,924	100.4%	222,476	99.9%	158,345	97.2%
販売費及び一般管理費	152,717	97.4%	204,266	97.4%	150,441	98.5%
人件費	74,591	101.0%	99,322	99.6%	71,401	95.7%
広告費	9,568	92.1%	12,813	94.0%	10,241	107.0%
内装費	508	88.7%	650	98.6%	840	165.3%
賃借料	19,002	95.9%	25,327	95.9%	18,332	96.5%
減価償却費	11,543	87.9%	15,665	88.7%	11,321	98.1%
水道光熱費	9,251	92.7%	11,877	95.8%	9,838	106.3%
その他	28,250	97.0%	38,609	98.4%	28,464	100.8%
営業利益	10,207	190.3%	18,209	139.7%	7,903	77.4%
営業外収益	3,797	97.0%	4,472	95.8%	2,163	57.0%
営業外費用	2,129	75.2%	2,786	75.7%	2,461	115.6%
経常利益	11,875	184.2%	19,894	141.9%	7,605	64.0%
特別利益	93	940.4%	32	58.1%	40	43.7%
特別損失	6,897	446.2%	9,292	134.0%	1,394	20.2%
当期(四半期)純利益	3,587	104.0%	5,409	120.0%	3,800	105.9%

② 営業外損益の内訳

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業外収益	3,797	97.0%	4,472	95.8%	2,163	57.0%
受取利息	351	100.3%	449	93.8%	296	84.4%
受取配当金	2,320	100.5%	2,465	102.2%	689	29.7%
負ののれん償却額	587	100.0%	783	100.0%	587	100.0%
その他	538	80.6%	774	77.7%	589	109.6%
営業外費用	2,129	75.2%	2,786	75.7%	2,461	115.6%
支払利息	1,853	85.6%	2,436	87.7%	1,808	95.4%
貸倒引当金繰入額	60	17.8%	58	17.4%	36	60.0%
その他	173	62.7%	234	46.5%	617	356.5%

③ 特別損益の内訳

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
特別利益	93	940.4%	32	58.1%	40	43.7%
固定資産売却益	32	347.9%	32	59.5%	39	120.8%
その他	60	-	-	-	0	1.6%
特別損失	6,897	446.2%	9,292	134.0%	1,394	20.2%
固定資産処分損	440	61.2%	690	84.0%	844	191.8%
投資有価証券評価損	335	98.7%	29	39.9%	379	112.9%
減損損失	777	160.3%	3,026	51.7%	171	22.0%
貸倒引当金繰入額	317	-	432	332.3%	-	-
災害による損失	1,437	-	1,433	-	-	-
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,463	-	3,463	-	-	-
その他	126	-	217	414.3%	0	0.1%

(2) 売上の状況

① 売上伸長率

		11/11	12/11					第3四半期 累計
			上期	9月	10月	11月	9~11月計	
衣料品	既存店*1	97.4%	98.3%	97.0%	83.4%	112.4%	97.6%	98.0%
	全店*2	94.9%	98.0%	95.5%	87.1%	112.4%	98.8%	98.3%
住関連品	既存店*1	98.1%	94.4%	96.7%	93.4%	101.7%	97.5%	95.4%
	全店*2	96.1%	94.6%	94.4%	95.7%	101.1%	97.3%	95.5%
食品	既存店*1	98.4%	96.9%	95.7%	96.0%	99.3%	97.0%	96.9%
	全店*2	97.1%	97.8%	94.6%	97.2%	98.1%	96.6%	97.4%
直営	既存店*1	98.2%	96.6%	96.0%	93.5%	101.9%	97.2%	96.8%
	既存店*2	98.3%	97.2%	94.9%	95.8%	101.8%	97.6%	97.3%
	客数*2	97.5%	96.4%	96.4%	97.2%	99.9%	97.8%	96.8%
	客単価*2	100.8%	100.9%	98.4%	98.5%	102.1%	99.8%	100.4%
	全店*2	96.6%	97.3%	94.7%	95.3%	101.0%	97.1%	97.2%

*1. 曜日調整後の前年比です。

*2. 曜日調整前の前年比です。

② 商品別売上高

(単位:百万円)

	11/11			12/2			12/11		
	前年同期比	構成比		前期比	構成比		前年同期比	構成比	
衣料品	84,013	94.9%	15.3%	115,248	96.4%	15.4%	82,558	98.3%	15.5%
婦人衣料	23,402	95.1%	4.3%	31,504	96.2%	4.2%	22,870	97.7%	4.3%
子供衣料	11,438	94.0%	2.1%	15,786	95.4%	2.1%	11,158	97.5%	2.1%
紳士衣料	14,084	96.4%	2.6%	20,023	98.3%	2.7%	14,234	101.1%	2.7%
洋品雑貨	13,997	95.0%	2.6%	18,545	95.5%	2.5%	13,421	95.9%	2.5%
肌着類	21,090	94.2%	3.9%	29,388	96.4%	3.9%	20,874	99.0%	3.9%
住関連品	88,028	96.2%	16.1%	123,807	95.8%	16.5%	84,104	95.5%	15.8%
住居関連品	17,282	83.0%	3.2%	23,463	81.8%	3.1%	15,656	90.6%	2.9%
日用雑貨	70,746	100.0%	12.9%	100,343	99.8%	13.4%	68,448	96.8%	12.9%
食料品	366,541	97.1%	66.9%	499,131	97.2%	66.5%	357,161	97.4%	67.1%
生鮮食品	214,356	97.0%	39.1%	293,569	97.0%	39.1%	208,477	97.3%	39.2%
加工食品	152,185	97.3%	27.8%	205,562	97.4%	27.4%	148,683	97.7%	27.9%
商品供給高	316	89.0%	0.1%	388	79.7%	0.1%	277	87.7%	0.1%
その他	8,664	94.4%	1.6%	11,589	94.8%	1.5%	8,359	96.5%	1.6%
合計	547,564	96.6%	100.0%	750,165	96.8%	100.0%	532,460	97.2%	100.0%

③ タイプ別売上高

(単位:百万円)

	11/11			12/2			12/11		
	前年同期比	構成比		前期比	構成比		前年同期比	構成比	
アピタ	352,382	96.9%	64.6%	485,524	97.2%	64.9%	346,620	98.4%	65.3%
ピアゴ	185,030	96.3%	33.9%	251,046	96.1%	33.6%	176,097	95.2%	33.2%
ユーホーム	8,473	94.9%	1.6%	11,322	93.9%	1.5%	8,122	95.9%	1.5%
合計	545,885	96.6%	100.0%	747,893	96.8%	100.0%	530,839	97.2%	100.0%

(注) 12/11期におけるタイプ別の既存店前年比は、アピタ:97.5%、ピアゴ:95.6%、ユーホーム:93.9%。

(3) 商品別荒利率

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期差		前期差		前年同期差
衣料品	38.2%	+0.6%	37.5%	+0.3%	39.0%	+0.8%
住関連	28.2%	+1.1%	28.1%	+0.8%	27.9%	-0.3%
食品	20.7%	+1.0%	20.8%	+0.8%	20.3%	-0.4%
直営	24.6%	+0.9%	24.6%	+0.7%	24.4%	-0.2%

(4) 新設店舗及び閉店店舗等

・12/11期実績

	店名	所在地	営業面積 (直営面積)	開閉店日
新設店舗	アピタ佐原東店(建替)	茨城県稲敷市	11,009㎡ (7,621㎡)	2012年8月3日
	ピアゴ新城店(建替)	愛知県新城市	7,642㎡ (4,823㎡)	2012年11月2日
増床店舗	アピタ敦賀店	福井県敦賀市	14,800㎡ (7,701㎡)	2012年10月11日
テナント 増床店舗	けやきウォーク前橋 (アピタ前橋店)	群馬県前橋市	56,908㎡ (13,205㎡)	2012年5月17日
	アピタ本庄店	埼玉県本庄市	12,160㎡ (7,915㎡)	2012年9月27日
減床店舗	ピアゴ豊郷店	滋賀県犬上郡	3,697㎡ (2,834㎡)	2012年11月16日
閉店店舗	ピアゴ浜松泉町店(建替)	静岡県浜松市	5,587㎡ (4,952㎡)	2012年5月20日
	アピター一宮店(改築)	愛知県一宮市	25,408㎡ (14,478㎡)	2012年8月19日
	ピアゴ新城店(建替)	愛知県新城市	5,439㎡ (4,223㎡)	2012年8月21日

総合小売業 — UNY (HK) CO., LIMITED

個別業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	10,996	127.6%	14,702	123.1%	10,941	99.5%
直営売上高	10,957	127.6%	14,649	123.1%	10,900	99.5%
営業利益	27	15.6%	-88	-	154	563.1%
経常利益	55	25.4%	-40	-	194	354.4%
当期(四半期)純利益	54	25.4%	33	132.9%	188	342.7%

(注) 1. UNY (HK) CO., LIMITEDは11月決算です。

2. 各決算期の期中平均換算為替レートは下記の通りです。

11/11期:1香港ドル=10.35円、12/2期:1香港ドル=10.44円、12/11期:1香港ドル=10.08円

コンビニエンスストア事業 — サークルKサンクス

(1) 連結業績

① 連結業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
チェーン全店売上高	744,188	106.7%	979,815	106.1%	721,724	97.0%
本体(単体)	680,712	105.3%	896,403	104.8%	667,954	98.1%
連結子会社	63,476	123.4%	83,411	122.3%	53,770	84.7%
営業総収入	145,481	98.8%	187,799	97.7%	119,315	82.0%
加盟店からの収入	82,501	105.2%	108,337	105.4%	82,759	100.3%
不動産賃貸収入	3,795	94.5%	5,033	94.6%	3,760	99.1%
自営店売上高*	54,051	90.6%	67,598	87.4%	27,640	51.1%
その他	5,133	100.3%	6,829	99.9%	5,155	100.4%
営業総利益	104,129	102.3%	135,855	102.1%	97,994	94.1%
販売費及び一般管理費	84,287	99.1%	113,898	99.4%	81,086	96.2%
人件費	16,903	100.1%	22,713	100.5%	15,471	91.5%
広告・販促費	5,002	97.4%	7,305	100.9%	5,003	100.0%
賃借料	33,496	101.2%	44,677	101.1%	33,469	99.9%
設備リース料	4,349	87.9%	5,730	88.3%	3,855	88.6%
減価償却費	9,450	110.4%	12,900	110.5%	10,300	109.0%
その他	15,085	91.9%	20,571	92.0%	12,985	86.1%
営業利益	19,841	118.6%	21,957	118.2%	16,907	85.2%
営業外収益	602	90.3%	802	89.0%	603	100.2%
営業外費用	896	69.8%	1,422	71.2%	926	103.3%
経常利益	19,548	121.3%	21,338	122.1%	16,584	84.8%
特別利益	594	-	2,682	-	1,086	182.8%
特別損失	7,943	236.7%	8,537	197.8%	2,794	35.2%
当期(四半期)純利益	6,779	94.9%	9,378	130.9%	8,630	127.3%

(注) 各決算期の対象となる連結子会社は下記の通りです。

11/11、12/2：サンクス青森、サンクス西埼玉、サンクス北関東、サンクス西四国、サンクス・ホクリア、サンクス東埼玉、ゼロネットワークス、99イチバ、リテイルスタッフの9社

12/11：サンクス青森、サンクス西埼玉、サンクス北関東、サンクス西四国、サンクス・ホクリア、サンクス東埼玉、ゼロネットワークス、リテイルスタッフの8社

なお、株式会社99イチバは13/2期よりユニー株式会社の完全子会社となっております。

* 自営店売上高には下記のゼロネットワークスの営業総収入を含みます。
ゼロネットワークス営業総収入(11/11:4,580百万円、12/2:6,021百万円、12/11:4,347百万円)

② 連結子会社の業績

	12/11			
	コンビニ6社	ゼロネットワークス	リテイルスタッフ	連結調整
チェーン全店売上高	53,770	-	-	-
営業総収入	9,794	4,347	1,274	-1,151
営業利益	150	458	29	-215

(2) 売上の状況

① 平均日販・客数・客単価(単体)

		11/11		12/2		12/11	
			前年同期差		前期差		前年同期差
* 既存店	平均日販(千円)	500	+19	493	+15	480	-23
	平均客数(人)	836	-3	818	-6	808	-33
	平均客単価(円)	598	+25	603	+22	594	-4
既存店前年比*		104.0%	-	103.1%	-	95.4%	-
全店平均日販(千円)		496	+23	489	+18	474	-22
新店平均日販(千円)		435	-6	418	-13	394	-41

* 既存店とは、各月において前年同月、当年同月とも月間を通して稼働している店舗のことを指します。
また、既存店の前年差額は、該当期の既存店の当年と前年の差額であり、前期の既存店との差額ではありません。

② 地域別既存店前年比(単体)

	11/11	12/2	12/11
北海道	102.8%	102.1%	97.1%
東北	107.3%	106.7%	99.8%
関東	103.1%	102.1%	93.8%
甲信越	105.7%	104.6%	95.8%
北陸	106.6%	105.2%	94.2%
東海	103.1%	102.4%	95.7%
関西	104.1%	102.9%	94.7%
中国	105.1%	103.8%	95.8%
九州	116.9%	112.6%	98.3%
全国計	104.0%	103.1%	95.4%

(3) 商品の状況

商品分類別売上高前期比・売上構成比・値入率(単体)

	11/11				12/2				12/11			
	売上高 前年同期比	構成比	値入率		売上高 前期比	構成比	値入率		売上高 前年同期比	構成比	値入率	
				前年同期差				前期差				前年同期差
ファストフード	103.0%	16.7%	37.9%	+1.1%	103.8%	16.8%	38.1%	+1.1%	102.2%	17.3%	38.2%	+0.2%
生鮮食品	97.9%	11.9%	34.9%	+0.1%	97.7%	11.7%	34.9%	+0.0%	96.9%	11.7%	34.9%	-0.0%
加工食品	98.7%	27.1%	38.1%	+0.6%	98.9%	26.9%	38.1%	+0.7%	98.0%	27.1%	38.9%	+0.8%
酒	97.1%	5.0%	/	/	97.4%	4.9%	/	/	98.2%	5.0%	/	/
非食品	114.8%	37.9%	15.0%	-1.0%	112.4%	38.0%	15.0%	-0.8%	96.3%	37.2%	14.9%	-0.1%
たばこ	120.6%	30.5%	/	/	117.6%	30.5%	/	/	97.6%	30.3%	/	/
サービス	105.1%	6.4%	5.0%	-0.2%	106.3%	6.6%	5.0%	-0.3%	101.6%	6.6%	4.8%	-0.2%
全商品計	105.3%	100.0%	27.21%	-0.67%	104.8%	100.0%	27.14%	-0.55%	98.1%	100.0%	27.45%	+0.24%

(注) カテゴリーの内訳は下記の通りです。

・ファストフード : 米飯、調理パン、調理麺、惣菜、カウンターフーズ
 ・生鮮食品 : チルド飲料、パン、デザート、青果、日配品
 ・加工食品 : ソフトドリンク、酒類、菓子、ラーメン、アイスクリーム、乾物等

・非食品 : たばこ、雑誌、新聞、DVDソフト、日用雑貨等
 ・サービス : チケット、ネットプリカ、切手、宅配便

(4) 店舗の状況

① 都道府県別店舗数(グループ計)

(単位:店)

		11/11			12/2			12/11		
		サークルK	サンクス		サークルK	サンクス		サークルK	サンクス	
北海道		190	-	190	191	-	191	192	-	192
東北	青森	179	106	73	181	107	74	182	104	78
	岩手	90	8	82	91	8	83	92	8	84
	秋田	95	14	81	93	14	79	92	12	80
	宮城	104	-	104	105	-	105	110	-	110
	山形	46	-	46	46	-	46	46	-	46
	福島	20	-	20	19	-	19	18	-	18
	東北計	534	128	406	535	129	406	540	124	416
関東	群馬	14	-	14	14	-	14	15	-	15
	栃木	47	-	47	48	-	48	50	-	50
	茨城	54	-	54	54	-	54	51	-	51
	千葉	174	-	174	130	-	130	132	-	132
	埼玉	181	-	181	181	-	181	186	-	186
	東京	669	73	596	601	71	530	610	69	541
	神奈川	338	129	209	343	128	215	351	125	226
	関東計	1,477	202	1,275	1,371	199	1,172	1,395	194	1,201
甲信越	新潟	100	100	-	99	99	-	102	102	-
	長野	133	133	-	136	136	-	138	138	-
	甲信越計	233	233	-	235	235	-	240	240	-
北陸	福井	61	42	19	62	43	19	63	44	19
	富山	70	69	1	72	71	1	78	77	1
	石川	197	116	81	195	115	80	201	119	82
	北陸計	328	227	101	329	229	100	342	240	102
東海	静岡	339	298	41	344	302	42	349	306	43
	岐阜	266	252	14	264	251	13	273	265	8
	愛知	1,058	879	179	1,077	902	175	1,108	945	163
	三重	230	202	28	232	205	27	239	213	26
	東海計	1,893	1,631	262	1,917	1,660	257	1,969	1,729	240
関西	滋賀	55	48	7	54	47	7	56	48	8
	京都	167	109	58	165	108	57	168	110	58
	兵庫	167	56	111	170	57	113	174	56	118
	大阪	399	163	236	404	167	237	400	165	235
	奈良	82	45	37	82	46	36	83	47	36
	和歌山	21	21	-	22	22	-	25	25	-
	関西計	891	442	449	897	447	450	906	451	455
中国	岡山	130	87	43	129	86	43	131	88	43
	広島	53	5	48	53	5	48	53	5	48
	中国計	183	92	91	182	91	91	184	93	91
四国	香川	68	16	52	70	17	53	71	18	53
	徳島	87	16	71	86	16	70	87	17	70
	愛媛	153	100	53	152	99	53	154	100	54
	高知	59	32	27	59	32	27	60	33	27
	四国計	367	164	203	367	164	203	372	168	204
九州	福岡	33	-	33	37	-	37	47	-	47
	熊本	27	-	27	27	-	27	27	-	27
	鹿児島	81	-	81	81	-	81	84	-	84
	九州計	141	-	141	145	-	145	158	-	158
全国計		6,237	3,119	3,118	6,169	3,154	3,015	6,298	3,239	3,059
都道府県数		38	26	35	38	26	35	38	26	35

② 契約タイプ別開店・閉店(単体)

(単位:店)

		11/11	12/2	12/11
Aタイプ	開店	12	29	25
	閉店	46	58	39
Eタイプ*	開店	0	0	0
	閉店	13	16	13
Cタイプ	開店	203	296	226
	閉店	86	107	57
自営店	開店	0	0	2
	閉店	38	61	33
合計	開店	215	325	253
	閉店	183	242	142

* Eタイプはサンクス固有の契約タイプで、リロケートなど一部の例外を除き、2004年9月をもって廃止となりました。

③ 契約タイプ別期末店舗数(単体)

(単位:店)

		11/11		12/2		12/11				
		サークルK	サンクス	サークルK	サンクス	サークルK	サンクス			
Aタイプ		1,053	811	242	1,058	812	246	1,038	790	248
	前期末比	-51	-34	-17	-46	-33	-13	-20	-22	+2
Eタイプ		353	-	353	347	-	347	321	2	319
	前期末比	-15	-	-15	-21	-	-21	-26	+2	-28
Cタイプ		3,350	1,950	1,400	3,481	2,041	1,440	3,682	2,173	1,509
	前期末比	+172	+132	+40	+303	+223	+80	+201	+132	+69
自営店	直営店	172	119	53	153	102	51	144	93	51
	経営委託店	105	70	35	45	30	15	10	8	2
		277	189	88	198	132	66	154	101	53
	前期末比	-74	-53	-21	-153	-110	-43	-44	-31	-13
合計		5,033	2,950	2,083	5,084	2,985	2,099	5,195	3,066	2,129
	前期末比	+32	+45	-13	+83	+80	+3	+111	+81	+30

④ 条件別店舗数(単体)

(単位:店)

		11/11		12/2		12/11				
		サークルK	サンクス	サークルK	サンクス	サークルK	サンクス			
24時間営業店		4,975	2,927	2,048	5,014	2,954	2,060	5,109	3,027	2,082
	構成比	98.8%	99.2%	98.3%	98.6%	99.0%	98.1%	98.3%	98.7%	97.8%
酒有り店		4,878	2,851	2,027	4,980	2,921	2,059	5,123	3,021	2,102
	構成比	96.9%	96.6%	97.3%	98.0%	97.9%	98.1%	98.6%	98.5%	98.7%
たばこ有り店		4,791	2,897	1,894	4,845	2,930	1,915	4,984	3,017	1,967
	構成比	95.2%	98.2%	90.9%	95.3%	98.2%	91.2%	95.9%	98.4%	92.4%
駐車場設置店		4,034	2,773	1,261	4,069	2,799	1,270	4,158	2,871	1,287
	構成比	80.2%	94.0%	60.5%	80.0%	93.8%	60.5%	80.0%	93.6%	60.5%
全店		5,033	2,950	2,083	5,084	2,985	2,099	5,195	3,066	2,129
	構成比	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

(5) グループの状況

① 売上高の推移

(単位:百万円)

		11/11	12/2	12/11
本 体	チェーン全店売上高	680,712	896,403	667,954
	前(年同)期比	105.3%	104.8%	98.1%
	既存店前年比	104.0%	103.1%	95.4%
エ リ ア F C 計	チェーン全店売上高	155,281	201,512	127,691
	前(年同)期比	102.4%	100.2%	82.2%
	既存店前年比	104.8%	103.7%	94.8%
グ ル ー プ 合 計	チェーン全店売上高	835,993	1,097,915	795,646
	前(年同)期比	104.8%	104.0%	95.2%
	既存店前年比	104.1%	103.2%	95.3%

(注) 1. 11/11期および12/2期におけるエリアFC計及びグループ合計の売上高には、2011年7月1日をもってエリア・フランチャイズ契約を解消した株式会社サンクスアンドアソシエイツ富山のほか、同じく2012年2月29日をもって契約解消した株式会社シー・ヴィ・エス・ベイエリアの実績を含んでいます。

2. 上記には99イチバの売上高(11/11:7,686百万円、12/2:9,969百万円)は含んでいません。
なお、株式会社99イチバは13/2期よりユニー株式会社の完全子会社となっております。

② エリアフランチャイザーの状況

	出資比率	店舗数(店)				売上高(百万円)		
		開店	閉店	純増減	期末	前年同期比		
1	サンクス青森株	100%連結 子会社	0	1	-1	73	8,577	103.3%
2	サンクス西埼玉株	100%連結 子会社	9	4	+5	100	10,937	98.1%
3	株)サンクス北関東	100%連結 子会社	2	0	+2	50	5,267	97.1%
4	サンクス西四国株	100%連結 子会社	2	1	+1	81	9,055	95.9%
5	株)サンクス・ホクリア	100%連結 子会社	7	5	+2	101	12,176	93.6%
6	サンクス東埼玉株	100%連結 子会社	2	3	-1	67	7,756	91.7%
7	サークルケイ四国株	35.0%	9	5	+4	173	21,226	98.0%
8	サンクス東海株	19.0%	5	4	+1	121	13,835	98.1%
9	サンクス京阪奈株	19.0%	7	5	+2	103	13,036	95.0%
10	株)サンクスアンドアソシエイツ東四国	31.0%	1	1	±0	123	14,606	96.8%
11	南九州サンクス株	19.0%	3	0	+3	111	11,217	89.7%
合計			47	29	+18	1,103	127,691	82.2%

専門店事業 — さが美 (連結)

連結業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	18,518	85.8%	25,953	87.5%	17,469	94.3%
営業利益	-898	-	-310	-	-878	-
経常利益	-900	-	-307	-	-859	-
当期(四半期)純利益	-1,376	-	-824	-	-1,067	-

専門店事業 — パレモ

個別業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	20,673	92.4%	27,978	93.6%	29,775	144.0%
営業利益	511	52.4%	631	54.0%	371	72.6%
経常利益	543	53.5%	675	55.7%	643	118.5%
当期(四半期)純利益	-177	-	-190	-	1,515	-

(注) 2012年2月21日付にて、株式会社鈴丹と株式会社パレモは存続会社を株式会社パレモとして合併しました。

専門店事業 — モリエ

個別業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	4,096	82.5%	5,595	84.1%	3,895	95.1%
営業利益	-65	-	5	-	108	-
経常利益	-70	-	2	-	106	-
当期(四半期)純利益	-140	-	-73	-	93	-

金融事業 — UCS

個別業績

(単位:百万円)

	11/11		12/2		12/11	
		前年同期比		前期比		前年同期比
営業収益	12,301	93.7%	16,415	95.2%	12,516	101.7%
営業利益	1,713	104.6%	3,222	176.2%	1,857	108.4%
経常利益	1,718	104.6%	3,228	176.0%	1,862	108.4%
当期(四半期)純利益	985	103.7%	1,740	170.9%	1,098	111.5%
カード会員数	-	-	323.3万人	101.6%	-	-

本資料は、「ユニー株式会社とその関係会社」(ユニーグループ)の過去と現在の事実だけでなく、将来に関する予測・予想・計画なども記載しています。これらの予測・予想・計画は、発表した時点で入手できる情報に基づいたものであり、諸与件の変化によって、将来の事業活動の結果が本資料に記載した予測・予想・計画と異なる可能性があります。従って、本資料における業績予想などの記載が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、予めご了解ください。なお、ユニーグループおよび関係者は、予測・予想・計画と異なる事象が発生した場合においても、なんら責任を負うものではありません。